

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2
学年	3年	類型	流通経済科・情報ビジネス科		
教科書(出版社)	改訂 新編 化学基礎 (東京書籍)				
副教材(出版社)	ニューサポート新編化学基礎 (東京書籍)				
授業の概要	化学が物質を対象とする科学であることを理解し、実験・観察を行うことで、化学が人間生活に果たしている役割について学習する。				
授業の目標	日常生活や社会との関連を図りながら科学への関心を高め、目的意識をもって実験・観察を行い、身のまわりにある化学に興味・関心をもたせるとともに、元素記号や周期表、化学の基本的な法則や概念を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	序編 化学と人間生活  1編 物質の成り立ち 1章 物質の探究 2章 物質の構成粒子	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質と人間生活の関連、歴史について理解する。</li> <li>生活のいろいろな場面で化学の知識が必要であることを理解する。</li> <li>物質の構成粒子としての原子の構造について理解する。</li> <li>試薬を安全に扱う方法や、基本的な実験器具の名称と使用法を習得する。</li> <li>周期律と周期表の構成について、族や周期の意味を理解する。</li> </ul>		
	2 学期	3章 物質と化学結合  2編 物質の変化 1章 物質と化学変化 2章 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオン結合や金属結合、共有結合などの化学結合の仕組みについて理解する。</li> <li>有効数字について理解する。</li> <li>物質の考え方と化学反応式の書き方について理解する。</li> <li>化学反応式の示す量的な関係について理解する。</li> <li>酸と塩基の定義や性質を理解する。</li> <li>中和滴定の実験を通して、指示薬や実験器具の名称と使用法を習得する。</li> </ul>		
	3 学期	3章 酸化と還元	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属のイオン化傾向について理解し、いろいろな金属の反応性について考察する。</li> <li>電池のしくみについて理解し、身のまわりの酸化還元反応について化学的に考察する。</li> </ul>		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	実験・観察の技能	知識・理解	
	自然の現象について興味と関心を持ち、積極的な態度で授業、実験に取り組むことができる。	授業内容について科学的な捉え方ができている。 授業内容と社会や生活との関連を考えることができる。	実験計画に沿った観察・実験の実行と結果の整理を行う。 実験器具の操作やデータ処理を適切に行うことができる。	学習内容について理解を深めることができる。 基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに定期考査までの学習のまとめごとに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。				